

地震時のトイレ

災害直後、(水洗)トイレは使用できません

地震で下水管が破損している可能性があります。

破損を知らずに使用した場合

●下水管の詰まりが発生 ●流した汚水が下の階で水漏れとなる ●汚水の逆流などが起こります。
破損が考えられる災害時は自治体が発信する情報等を確認してから使用するようにしましょう。

仮設トイレはいつ来るの？

災害用トイレとして真っ先に思いつく仮設トイレが、避難所にすぐに届くとは限りません。

自宅トイレを災害時に使う方法

水を流すことはできませんが、便座そのものが壊れていなければ簡易トイレとして使用できます。その際**簡易トイレセット**が便利です。あらかじめ購入して備蓄しておきましょう。無い場合は下記の方法でも代用可能です。(便器が壊れている場合は、バケツやダンボールなども代用可能です。)

① 便座を上げて、1枚目のポリ袋をかぶせる
このポリ袋は付けたままにする

② 便座を下げて、携帯トイレをセット。無い場合は、2枚目のポリ袋をかぶせ、くしゃくしゃにした新聞紙の中に敷き詰める。

③ オムツやペット用トイレシート・猫砂、防臭スプレーは、吸収・防臭などに役立ちます。
猫砂 防臭スプレー

④ 排泄したら、2枚目のポリ袋(携帯トイレ)だけを取り出して、空気を抜いて強く結ぶ。
処分は自治体のルールにそって行います。

一人1日のトイレ使用：6回×最低3日分、できれば1週間分の簡易トイレセットの準備が望ましいです。手洗い用ウェットティッシュなど一緒に準備しておきましょう。

火災対策 火災発生!そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。



1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ	石油ストーブ	衣類
あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。	真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてると石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。	着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。
風呂場	電気製品	カーテン・ふすま
風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。	いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。	カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



消火器の使い方 粉末・強化液消火器の場合

■消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

火災予防が一番!!

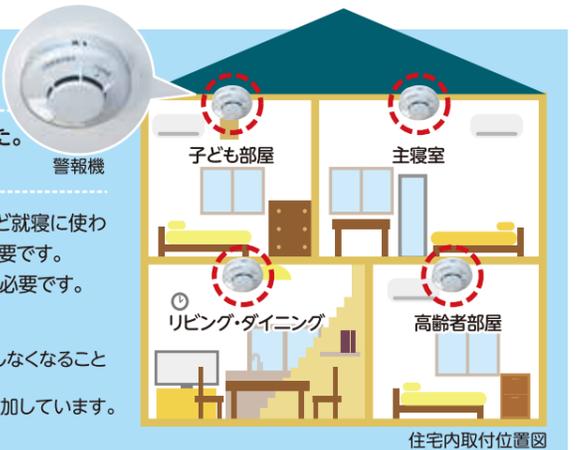
火災報知機の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災報知機の設置が義務付けられました。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

火災報知機の設置場所

- 寝室** すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段** 寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所** 台所への設置も必要です。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。設置してから10年を目安に取りかえましょう。
※住宅用火災警報器の設置義務化を契機に、訪問販売による不適正な販売が増加しています。ご注意ください!!



住宅の浸水被害を防ぐには

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の浸入口となるところを塞ぐことで水の浸入を減少させることができます。トイレなどの逆流防止にも有効です。 ※実施の際には避難の妨げにならないように気を付けてください。

「水のう」の作り方

40L程度のゴミ袋を二重にして半分程度の水を入れる。空気を抜いて口をしぼる

排水口からの逆流対策に

- 段ボール等に入れて並べる
- 長めの板状のものと組み合わせて止水板に
- 土を入れたプランターをレジャーシートなどで包むのも有効